

L=2.75km 用地買収面積A=140,000m²

- 当初
- 追加分



鹿折・南町・魚町地区

SCALE: 0m 200m 500m



南町・魚町地区（盛土嵩上げ案）



凡 例

	住居系エリア		防潮堤（レベル1防護）
	商業系エリア		主な道路
	産業系エリア		鉄道
	緑地・公園		一時避難場所 重点設置エリア
	原則非居住エリア		時避難動線
	浸水区域		避難場所、高台等
			高台広場

※地盤高さは現況復旧以上の高さまで嵩上げ盛土することを前提としています。

住商混在エリア
 ・L1+αの防潮堤により市街地を完全防護
 ・避難を前提として、区画整理等を伴う嵩上げをせず早期復興
 ※堤防の位置については、地区の方と協議の上検討します。

本資料は復興後のまちの姿をイメージしたものです。
 今後、関係各所との検討・協議や、津波シミュレーションによる安全性等の確認を踏まえ、
 適宜更新していく予定です。

※三陸縦貫自動車道の線形は8月公表資料を基に作成
 起点「気仙沼IC（仮称）」、終点「唐桑南IC（仮称）」を結ぶ概ね500m幅
 を表示

■ (一) 大島浪板線浪板工区道路改良事業における用地補償に係る時系列

表 用地補償に係る時系列

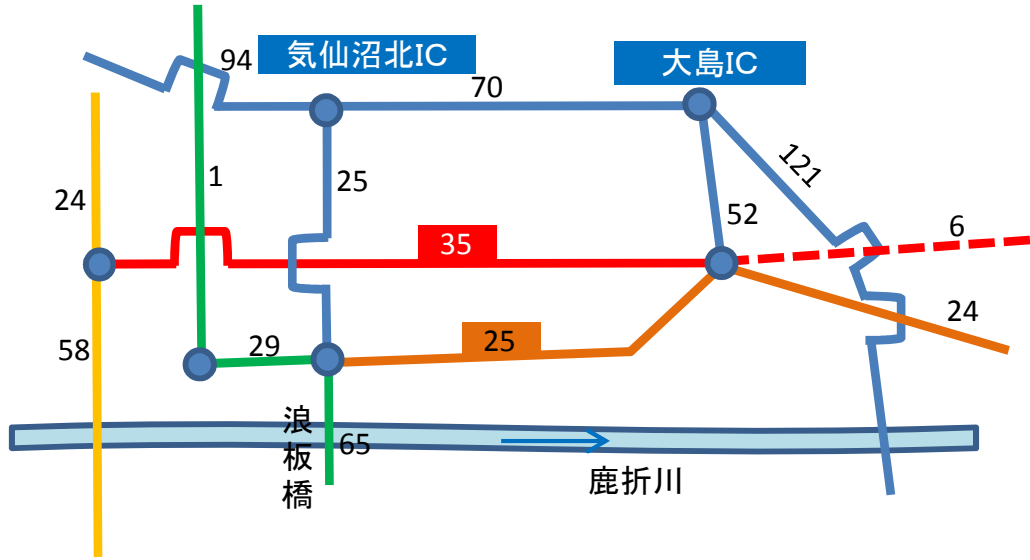
時系列	出来事
H23.3	東日本大震災発災
H23.上半期	(一)大島浪板線浪板工区道路改良事業の検討
H23.11	三陸縦貫自動車道計画決定(気仙沼北IC,大島IC)
H23.11	(一)大島浪板線浪板工区道路改良事業ルート変更方針説明 ※山側へルートをふることを説明
H23.12	(一)大島浪板線浪板工区道路改良事業、補助事業採択
H23.12	道路設計、用地測量着手
~H23.12	浪板~大浦工区で家屋再建
H24.1	(一)大島浪板線浪板工区道路改良事業概略ルート説明 ※概略ルートの提示。ただし、防集団地とのアクセス不確定
H24.7	気仙沼市災害危険区域指定
H24.7	用地境界立ち会い
H25.2	防災集団移転団地と取り付け道路調整
H25.10~	用地説明会、用地補償開始

※ 平成23年12月までにほとんどの家屋が再建している。

※ 平成24年1月に概略ルート説明会は実施していたが、防集団地とのアクセス道路の調整に不測の日数を要したため、平成25年10月にならないと確定ルート提示はできなかった。

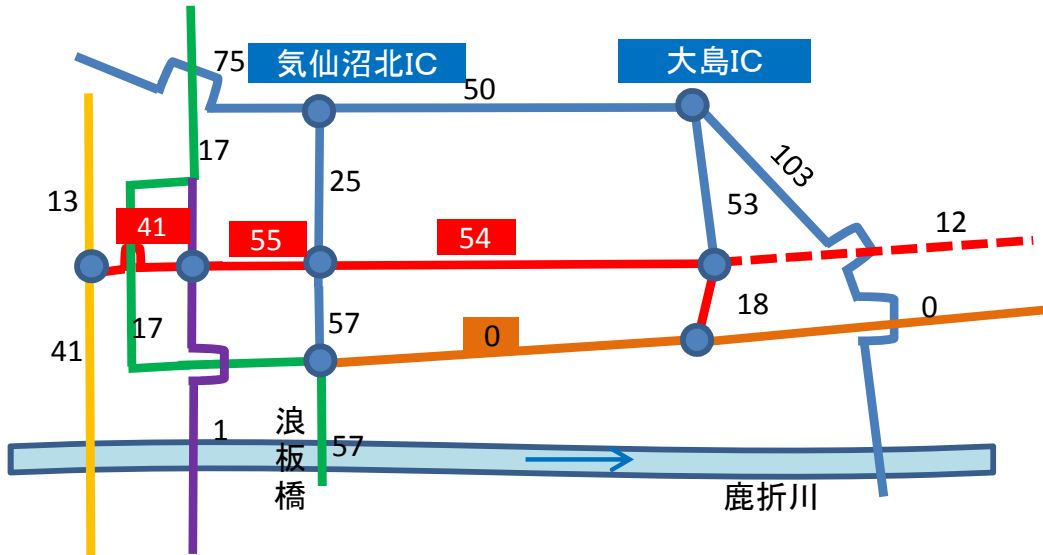
■当初(H23)と再評価時(H27)のネットワーク及び交通量の比較

●当初(H23)のネットワーク及び交通量配分(単位:百台/日)



凡例	
(一)大島浪板線(補助工区)	——
(一)大島浪板線(交付金路線)	- - - -
(一)大島浪板線(現道)	——
三陸縦貫自動車道	——
(主)気仙沼唐桑線	——
(国)45号	——
市道	——

●再評価時(H27)のネットワーク及び交通量配分(単位:百台/日)



■留意点

- ・当初は気仙沼北ICと(一)大島浪板線(補助工区)は立体交差であったため、(一)大島浪板線(補助工区)の交通量は35百台/日、(一)大島浪板線(現道)の交通量は25百台/日であった。
- ・再評価時は気仙沼北ICと(一)大島浪板線(補助工区)は平面交差となり、(一)大島浪板線(補助工区)のアクセス性が向上したことにより交通量が大幅に増え、(一)大島浪板線(補助工区)の交通量は54百台/日、(一)大島浪板線(現道)の交通量は0百台/日となった。